

- ◆(株)富士通ワイエフシーがワーク・ライフ・バランスに取り組むきっかけとなったのは、妊娠・出産を経て職場復帰した一人の女性社員の声でした。それまで、ほとんどの女性が出産後退職していた中、女性自身の経験から、現状を改善する必要性などを現社長に直接訴え、社内サイト「プレママ Help！」の開設、女性活性化プロジェクトの設置が実現しました(2006年1月)。
- ◆女性活性化プロジェクトでは、全女性社員から意見を聞き、そこで出された約80件の要望・提言について社長、総務部、プロジェクトが一体となって検討、改善を進めてきました。
- ◆さらに性差関係なく仕事と家庭の両立を支援するため、2006年10月に「ワークライフバランス推進室」を設置、2007年4月よりテレワーク(在宅勤務、モバイル勤務)を本格導入し、(社)日本テレワーク協会が主催するテレワーク推進賞(優秀賞)を受賞しています。
- ◆グッドバランス賞の認定委員会では、ワークライフバランスの推進活動が短期間で様々な取組進めており、社長以下社をあげた努力の姿勢が高く評価され、表彰企業に選ばれました。

#### 〈事業所概要〉

代表者／宮浦 完次 氏

従業員数／281人

所在地／神奈川県栄町

**宮浦社長のお話から** 男女関係なく、ワークもライフも大事に頑張りたいと思っています。会社は大きな家族。家族だから面倒をみるのは当然です。皆に気持ちよく仕事をし、能力を最大に引き出すため、まず(取組を)やってみて結果を評価し、もし問題があればその都度対応していくことが大切だと思っています。

**女性社員の声** 育児をしながら本当にありがたいと思うのはテレワークができることです。他にも様々な制度が整い、数年前に比べてとても働きやすくなったと実感しています。後輩の女性社員からも「子育てをしながら仕事を続けられそう」という声が聞かれますし、結婚・妊娠による退職率も下がっています。

**男性社員の声** 第2子が生まれた時、合計10日間の育児休暇を取得しました。1人目の時よりも深く育児に関われ、産後体調が不安定な妻の側にいられたので、とても良かったと思っています。

妊産婦用休憩室(下)が設置されているオフィス

